

区分	評価指標	H27実績	H28実績	H29実績 (確定値)	前年度比	図書館運営全体		
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価	
	資料購入費:決算数値(千円)	17,659	15,049	13,146	0.87	資料購入費が毎年十数%減額されており、今後も厳しい状況が続くことが想定される。資料を厳選し購入点数を絞る一方、資料の活性化のため除籍作業を継続した結果、蔵書点数はわずかに減少した。 個人登録者数の微増は、新設した他の市立図書館で登録した利用者が、更新時に生活圏に近い北区に登録館を変更したことが原因と考えられる。 入館者数は、平成27年度までは豊栄図書館のみカウントしていた。平成28年度途中から松浜図書館にも入館者数カウンターが設置され、平成28年度以降は豊栄と松浜の合算値になっている。人口減少や図書館離れに加え、近接自治体に図書館が新設されたことが原因と考えられる。継続的にPRを行い、利用拡大に努めたい。	3 大変評価する。55.6% 2 ある程度評価する。44.4% 1 評価できない。	・財政面等の非常に厳しい環境の中、多彩な活動を展開している努力に敬意を表する、引き続き愛され親しまれる地域のための図書館として運営を着実に進められるよう期待する。 ・大切な図書への予算を補うため、企業のCSR(社会に対する利益還元)の受け入れなどはできないか。 ・北区の人口からすると、登録人数はまだ伸ばせる余地があると思う。 ・予算が年々削られる中で努力されている。これからのこの状況は続くようであり、たいへん危惧を持っている。教育関連予算(図書館)は未来の子どもの育成のために削減してはいけない。 ・図書館利用の新規の登録が伸びていない。自治会などをとおし啓蒙を図り、利用者・登録者の増加に努めることが大切である。
	蔵書点数(点):図書・AV	244,268	244,906	242,099	0.99			
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	371,028	355,099	328,251	0.92			
	個人の登録者数(人)	13,148	13,092	13,354	1.02			
	(内新規登録者数)	1,625	1,547	1,453	0.94			
	入館者数(人)	207,074	258,661	242,969	0.94			
	後期 新規							

区分	評価指標	H27実績	H28実績	H29目標	H29実績 (確定値)	自己評点	H30目標	評価(次年度への展開)		
施策・事業 (各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」					自己評価	外部評価			
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	8,288	8,778	8,800	6,393	1	6,530	個人予約件数は図書館システムの利便性の向上による増加が一段落し、ほぼ目標どおりとなった。レファレンス件数は減少しており、サービスのPRや研修等による職員の技術の向上に努め、件数増を図りたい。	3 大変評価する。33.3% 2 ある程度評価する。66.7% 1 評価できない。	・気軽に質問できる親しみやすさを今後も継続してもらいたい。 ・利便性の向上は、利用の拡大に大きく影響するのだと感じた。PR活動を更に進めてほしい。 ・レファレンスのPRに努めてほしい。高齢者がサービスの理解が出来ず苦手に感じている。
	個人予約件数(件)	46,749	50,518	51,000	50,928	2	43,800			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	-	-	-	-	-	-			
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」					自己評価	外部評価			
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	11,299	11,680	11,700	11,997	3	12,200	公共機関等が作成したパンフレット類など、引き続き郷土資料の収集に努めた。貸出は目標に届かなかったため、展示等で郷土資料をアピールするといった取り組みを行いたい。公民館等との連携は減少しており、より幅広い組織との連携により増加を図りたい。	3 大変評価する。55.6% 2 ある程度評価する。44.4% 1 評価できない。	・郷土資料の積極的な収集は、地道ではあるが地域に根差した図書館ならではの意義があり、今後も継続して取り組むとともに、資料の有効活用も工夫してほしい。 ・職員派遣は積極的に行い、公民館との連携も今後期待できる。 ・郷土資料を子どもたちも身近に感じ、手にとられるような昔話集等を揃えたい。 ・郷土資料はかなり揃っている。過去の歴史、成り立ちなど、先人から学ぶことは大切なことであり貴重な経験である。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	3,903	3,914	4,000	3,450	1	3,000			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	0	0	1	2	3	1			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	5	6	6	3	1	3			
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」					自己評価	外部評価			
	児童書の貸出冊数(冊)	97,583	94,465	98,000	85,510	1	75,000	ブックスタート事業等で読み聞かせの習慣化を図っている一方、児童数・生徒数の減少の中で児童書の貸出冊数は漸減している。小中高等学校への団体貸出冊数は増加しており、学校への働きかけによるものと思われる。子ども・親子対象事業の参加者数は増加傾向で、今後も積極的なPRに努めたい。 職場体験は、目標は達成できなかったが、区内中学校からの受入が定着しており、堅調に推移している。子ども読書推進に関わる連携では、職員派遣が進み、目標を達成することが出来た。なお、公民館との連携については該当する事業がなく目標を達成できなかった。	3 大変評価する。66.7% 2 ある程度評価する。33.3% 1 評価できない。	・学校との連携強化は、地域の児童健全育成に資するものであり、今後も注力して展開してほしい。 ・ブックスタート事業を充実することで、今後に繋がっていくものと期待している。 ・学社民の融合が定着し、お互いにWIN-WINの関係で図書館が地域の核になる仕掛けを作ってほしい。 ・公民館等の連携・協力については、工夫して推進いべきだと思う。 ・学校図書館の蔵書の充実を図って子ども達の利用を促すよう努力が必要。 ・学校によっては、校長・司書が苦勞していると思うが、子どもが読書することが好きになるよう具体的な工夫が必要。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	9,686	8,741	9,000	9,925	3	9,000			
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	2,324	2,379	2,450	2,544	3	2,300			
	職場体験受入人数(人)	17	17	20	18	1	16			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	14	9	10	14	3	8			
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	0	0	1	0	1	1				
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」					自己評価	外部評価				
図書館ボランティア活動者数(延人数)	428	336	350	226	1	210	ボランティア活動者数(延人数)について、平成28年度は「おはなしの勉強会」が学校に出向く活動をカウントしなくなったための減少。平成29年度は、書架整理・資料修理を中心に活動者数が減少したことが原因と思われる。読み聞かせボランティア入門講座や広報誌でのPR等で、ボランティア活動全体の活性化を図りたい。 共催・協働事業件数は目標を達成できなかったが、ボランティア団体と図書館との共催事業は定着化している。	3 大変評価する。33.3% 2 ある程度評価する。66.7% 1 評価できない。	・ボランティア人数が少ないため、個々人の負担が大きくなっている。講座はぜひ豊栄でやってもらいたい。 ・次世代育成ができるようなきっかけがあるとボランティアの若返りができるのではないと思う。引き続きPRを行ってほしい。 ・学校で読み聞かせ活動のニーズが高まってきているので、ボランティア活動の活性化を図ってほしい。 ・協働事業をとおして、身近な公共施設である図書館に1人でも多くの方が利用するよう努めてほしい。	
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	10	4	10	3	1	4				
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	2 (協議会2回)	2 (協議会2回)	2 (協議会2回)	2 (協議会2回)	2	2				
共催・協働事業の実施件数(件)	16	17	17	15	1	12				
効率的・効果的な運営(職員)					自己評価	外部評価				
研修参加職員数(延人数)	20	41	30	88	3	35	図書館業務のスキルアップを図る専門的な研修会に積極的に参加した結果、大幅に増加した。	3 大変評価する。77.8% 2 ある程度評価する。22.2% 1 評価できない。	・職員が専門的知識を持つことは市民にとっても意義のあることに繋がる。 ・多忙な中ではあるが、資質の向上のため充実した研修は続けるべき。	

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った